

「ポレーシェ」とは、チェルノブイリ付近の湖沼低地帯の呼称です。



2024年2月15日発行

特定非営利活動法人 チェルノブイリ救援・中部

～能登半島地震～ 被災された方々への支援について

池田 光司

能登半島地震で亡くなられた方々へのお悔やみと、被災された方々へのお見舞いを申し上げます。

地震、津波の被災に加えて寒さ、その大変さはいかばかりか、心が痛みます。この甚大な災害に際して、戦時下にあるウクライナの人々がいち早く行動を起こしました。日本在住の方々や日本に避難されている方々が街頭募金に参加したり、ウクライナで地震のニュースを見て心配するメッセージを寄せてくれたりしたのです。自らが苦しい状況にありながらも、被災された人々に寄り添おうとする姿に驚きを感じました。ウクライナの人々の寄り添う心が、地震被災者の方々の希望へとつながることを願ってやみません。

このウクライナの人々の行動に後押しされるように、チェル救の運営委員会でも能登半島地震への支援ができないか検討を始めました。原発事故被災者支援という団体設立及び活動の目的から、現在は戦時下にあるウクライナの原発被災者の方々の支援を行っています。したがって、チェル救が主体となって寄付を集めて、能登半島地震被災者の方々の支援を直接行うことは難しい状況です。間接的な支援になりますがチェル救とつながりがあり被災者支援の経験と実績豊かな団体「レスキューストックヤード」を通して支援ができないか、検討しています。間接的ですが、できるかぎり顔の見える寄り添う形の支援ができればと考えています。支援内容が決まりましたらあらためてお知らせしますので、その際はご協力をよろしくお願いします。



(写真はレスキューストックヤード提供)

クリスマスカードキャンペーン終了しました！

“Nたま”研修・インターン生 久保田 蒼

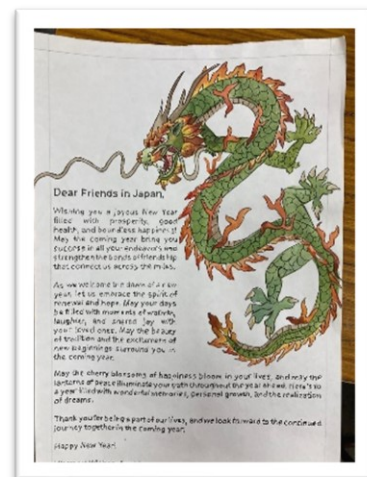
今年度のクリスマスカードキャンペーンも、無事皆様のご協力のおかげで終わることができました。この文章を読んでいる人は、私よりも以前からクリスマスカードキャンペーンを知っていた、携わっていたという方が多いのではないかと思います。この文章を読んでいる人は、私よりも以前からクリスマスカードキャンペーンを知っていた、携わっていたという方が多いのではないかと思います。

日本からウクライナ、ウクライナから日本と運ばれたクリスマスカードはどちらもそれぞれの文化が色濃く表現されていて、色合いや風情がとてもきれいでした。そして新たに『ウ

クライナの子ども達の絵画展』ということで、名古屋市や長野県、大学での開催でチェル

救の活動をより色々な人に広めることができました。戦争によって油断ならない状況で生きている子ども達の、ひたすらに平和を望むものであり、ウクライナ文化に興味を持って会場にお見えになり、少しでも寄付してくれる人がたくさんいました。

半年間のインターン活動で携われたイベントは少なかったですが、クリスマスカードキャンペーンやワールドコラボフェスタなど関わったもので大きな経験をさせて頂きました。その中でも日本と海外を繋ぐという中で、もちろん言語の壁もあるし、何か物を送るというだけでも時間が掛かってしまいます。その大変さを肌を感じながら活動できたことは、より海外支援に関心を持つきっかけとなるととても身になる経験でした。半年間ありがとうございました！！



私たちの心にいつまでも……

(ボリス・アンドリオヴィチ・チュマク追悼)

私たちが知り合ったのは、90年代のことでした。チョルノブイリ原発事故の直後、文字通り世界を核惨事から救った消防士たちの偉業について、日本からの派遣団の客人たちに会って話してほしいと、州消防局に依頼した時です。当時、ボリス・アンドリオヴィチは消防局長でした。そして彼の話には、事故当時市内の消防士たちで組織された混成大隊のメンバーに対する特別な配慮が感じられ、そのことが私を驚かせました。各人にそれぞれの物語があり、それぞれの消防士が家に残した家族や両親に対して、彼は責任を負っていました。彼らが行った作業の影響について、誰よりもよく理解していたからです。その後協力の年月が流れ、消防士たちへの技術的な支援や、消防局の職員たちが医療と健診を受けられる医療センターの設立が行われました。チュマク氏はいつも言葉数の少ない人でしたが、その一言一言に重みがあり、分別があり、誠実さが感じられました。謙虚で真面目な人であり、すばらしい家庭人であり、二代目の消防士であった彼は、自分の小さな郷里、バラニウカ町をととても誇りにしていました。そこでは彼の父親の肖像と、父親が署長をしていた消防署の歴史が、署の入口の目立つ場所に掲げられていました。

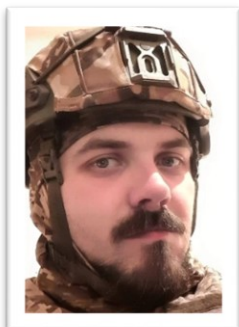
晩年、チュマク氏は「チョルノブイリの消防士たち」基金の代表でした。集会や式典で、1986年の部隊のメンバーの数が年々減っていることを、彼は悲しみを込めて語りました。彼の友人や仲間が亡くなっていきました。オレーフ・トヴァンシクイ、ヴォロドゥイムイル・トロヒムチュク、ムイコライ・プゾヴィコウ、セルヒイ・ホルシカレウ、イヴァン・ムイスルイヴィイ、ヴォロドゥイムイル・フーリエウ、そのほ

か多くの人たちです。そして今、より若い世代の消防士たちが「お父さん」と呼び、ホステージ基金では「私たちの誇り」と呼んでいた、ボリス・アンドリオヴィチが亡くなりました。どんな問題や依頼も、彼にお願いすればただちに解決されました。彼の努力によって、チョルノブイリの悲劇の博物館がジトミル市第2消防分署に併設され、同署の4階の、チョルノブイリ原発での事故処理作業における消防士たちの偉業に捧げられた展示は、広く紹介され、常に更新されました。州内のほとんどすべての消防署で建立された記念碑も、ボリス・アンドリオヴィチの功績です。「自分たちでなかったら、いったい誰が、チョルノブイリの被災者となった消防士たちについての記憶を守り、それを次代に伝えていくのか」と、彼は会うたびに語っていました。

私は、日本に彼の友人がたくさんいて、彼が重んじられ尊敬されていたことを知っています。日本を訪れて、消防士たちの偉業について話してもらいたいという依頼を、彼は何度も受けました。でも、彼の健康状態では、飛行機に8時間乗ることは不可能でした。皆さんがこのすばらしい、善良で立派な方とお知り合いになられたことを誇りに思います。彼の思い出を、私たちの心にとどめておこうではありませんか。

2024年1月25日

イエウヘーニヤ・ドンチェヴァ



コセンコさんの息子さんの戦死 ～2023年12月28日～

『また一人を失いました…。叫び出したくなるのですが、涙が喉を詰まらせて。そして心臓が締め付けられます…。ホステージ基金の創立者の一人で、理事長であり、かつての『チョルノブイリの人質たち』の編集長、私の同僚で親しい友人であるヴァレーリイ・コセンコの息子が亡くなりました』〈追悼文より:プログラマーだったアンドリイさんは昨年3月1日、志願兵として入隊、特殊部隊員、軍医療班員として勤務。バフムート、ヘルソン州、東部戦線、ハルキウ州で戦闘に参加。ドンバス地方での戦闘で亡くなった〉

【ウクライナ現地情報 2023 年 12 月～2024 年 1 月】

タマーラ・クラシツカさんからのメール要約 キーウ市「未来」(ゼムリャキ) 代表

<20231203>『大きなご支援への心からの感謝をお伝え下さい。私たちは軍人たちと障害者たちに、さらに多くの支援をすることができます。この困難な戦時に生き抜くことは非常に苦しく、そのため皆さんのご支援は非常に有効で、大変求められているものです。皆さんがお元気で、エネルギーに恵まれますように！敬意を込めて、タマーラと「ゼムリャキ」』『今後もご支援いただけたとのこと、ありがとうございます！ 私たちは今、障害者に医薬品と食品を、軍人たちに暖かい衣服(靴下、保温下着、使い捨てカイロ)を提供しています。軍人たちの衣服は使い捨てです。最前線にいる兵士たちは、洗濯したり干したりということができないからです』



<20231207>『私は昨日、近くの 2 つの郵便局に行きました。局員たちは自分たちのシステムで検索し、日本からのクリスマスカードの小包は、キーウ中央郵便局から私たちの地区の最寄りの局に転送され、配達まであと数日かかるそうです』

<20231213>『今日、子供たちの作品の入った小包を送りました。とてもシンプルな作品ですみませんが、困難な条件下でした。空襲警報で地下に避難したり、オンライン授業を受けたり。キーウで空襲が増え、多くの犠牲者が出、破壊が行われています。酷いです！ 3 日間ネット接続がありませんでした。今日、2 つの小包を受け取りました。私たちは開けてみて喜びました。本当に素晴らしい作品で、クリスマスに子供たちを喜ばせてくれるでしょう。「ゼムリャキ」のすべてのメンバーからご挨拶を！』

<20231223>『素晴らしい新年のカードに対し、すべての子供たちと、関係者の皆さんにお礼申し上げます。孤児たちが身を寄せているシェルターで 72 通を、私たちの団体のスペースで障害児たちに 25 通を配布しました。心より感謝申し上げます！』

<20231231>『新年のお祝いのご挨拶を、すべてのメンバーにお伝え下さい！（私たちは勝利を信じ、希望を持って生きています！）』

<20240104>『地震で私たちのお知り合いの方々は、皆ご無事でしょうか？とても心配しています。こちらでは日本についてよくないニュースが流れていますので。地震で大きな被害があり、死者も出ているというものです。ウクライナでは敵が私たちの命を奪い、そちらでは自然が猛威を振るっています。皆さんお元気で、忍耐とご成功に恵まれますよう！』



<20240106>『皆さんご無事で被災されなかったとのことのお知らせ、ありがとうございます。これで安心できました』

ウクライナの子どもたちの絵画展 伊那市で開催

長野県南箕輪村 原 富 男

12月9日と10日の2日間にわたって伊那市で絵画展を開催しました。

名古屋での絵画展を下見し準備しましたが、伊那市で開催するとなると初めての経験で会場選びから迷い、不安なスタートでした。集まりやすさと費用の点では図書館の展示室が適当でしたが、112枚の絵が収まらず、費用はかかるものの広くて使いやすい「いなっせ」展示ギャラリーでの開催になりました。

この時期、他のイベントもありスタッフの確保、入場者があるのかなども心配でしたが、とも

かく走りはじめました。結果は2日間の入場者102名、カンパ89,014円でしたのでまずまずの成功でした。いつも応援していただいている上伊那地域の皆さんの協力に感謝します。また忙しい時期にもかかわらず飾り付けに駆けつけていただいた皆さんにも心から感謝いたします。

展示された絵はウクライナの戦時下の子ども達の思いが込められており、皆さんの絵を見る姿勢に圧倒されました。見終わった後、感想文を書いていただいたのですが、いずれも長編で中身濃く書かれておりました。この感想文が翻訳されウクライナに届く日を楽しみにしています。

また感想文を書いていただいた後に控え室でウクライナの郷土料理ボルシチを食べていただきましたが好評でした。参加者からのライ麦パンの差し入れもあり、食べながらゆったり話せたことも収穫でした。今回の絵画展では報道関係者が大きく事前記事・事前報道をして下さり、入場された方の多くが「新聞、テレビを見て」入場され、ありがたく思います。次に絵画展に参加された、お二人の感想文を引用させていただきます。



憧れの国ウクライナ、緑と優しい人たちの国ウクライナをいつか訪れたいと思っていました。まさかその憧れの国が侵略され、苦しみと、悲しみの中にあるとは夢にも思いませんでした。私の孫と同年の子ども達が悲しみと苦しみの中で必死に頑張り、平和を願う姿に心が震えます。頑張って、きっと平和な日常は帰ります。祈っています。「再びの冬訪ね来しウクライナ 今朝ストーブの点火ためらう」

一歳の娘と一緒に絵を見ました。ウクライナの子ども達が、戦争と関係ない絵を描ける日が来ることを心から願いました。このような形でウクライナの子ども達の心を届けてくれたことに感謝します。ウクライナの子ども達が心から安心して過ごせる日が一日も早く来ますように。

絵画展の成功をご報告させていただき、一日も早い戦争の終結を望みます。皆さんありがとうございました。

キーウを逃れて

イリーナ・ペトリチェンコ

もう 2024 年ですね。今年はウクライナの全面的侵攻開始 2 周年、クリミア半島の違法合併や東ウクライナへの侵攻開始 10 周年、「ブダペスト覚書」30 周年となります。後者が日本であまり知られていないので簡単に説明しますと、1991 年の独立現在、ウクライナにはアメリカ合衆国とロシア連邦に次ぐ世界 No.3 の核兵器弾頭が設置されていました。しかし、チェルノブイリ原発事故の生々しい記憶と、核兵器保有国増加に対するアメリカの猛烈反対が重なり、独立認証と引き換えに核兵器廃絶（ロシア移転）が決まりました。その正式発表は 1994 年末に行われた欧州安全保障協力機構設立決定のブダペスト会議、同時にアメリカ・イギリス・ロシア・ウクライナによる「ブダペスト覚書」が署名されました。その内容は核兵器非保有国となるウクライナを守るかのように見えますが、機能しない法的文章の代名詞として有名です※¹。

個人的には、2023 年 7 月末に「ウクライナ人とロシア人の話し合いが足りない」と初めて言われて、半年記念です。当時、極端な意見かと思いましたが、最近よく耳にしたりネットで見かけたりします。たとえば、2023 年 10 月 21 日開催の「東大で戦争と平和について考える 一東大と一緒に! 安田講堂親子スペシャル」では、登壇者の質問「どうしてウクライナ戦争は終わらないと思いますか」に対してリアルタイムで聴衆がこう答えています※²。

- ・戦争によってお金もうけをする人がいるから (33%)
- ・ロシアの人たちがプーチン大統領の味方だから (20%)
- ・ウクライナとロシアの間に話し合いが足りていないから (20%)
- ・その他 (16%)
- ・まわりの国がウクライナを助けているから (10%)

これは自由回答ではなく用意された選択肢のランキングですが、5 人に 1 人も話し合い不足を疑うことが、出席の私としては信じられないほど多く感じました。その理由を説明するには、一見無関係の DV 被害を検討しましょう。夫婦間の暴力が起こるのは会話不足のためでしょうか。それとも、片方が明らかにいじめを仕掛けるからでしょうか。国家も似ています。隣同士が話さないはずがありません。たとえば、日本と海の向こうの朝鮮半島は何千年もの関係が脈々と続いていますね。そして、日本人が 20 世紀前半に犯したことを 80 年経っても韓国の人は覚えて、敏感に反応します。正月早々の能登半島地震に伴う津波警報を日本の気象庁が韓国領土とされる無人島に対しても発表すると、韓国外務省が非難しました※³。

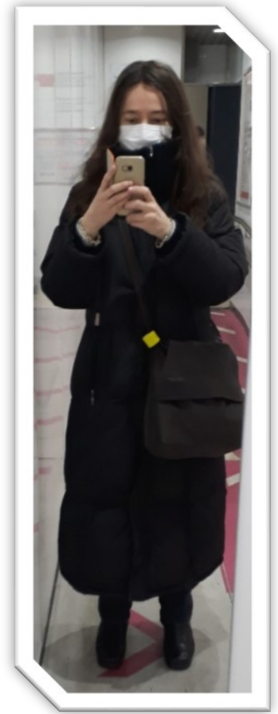
では、ウクライナとロシアはどうでしょうか。2022 年 2 月末は一部の人の仕業だと信じたく、ウクライナ人は必死に SNS で「正体」をロシア語で伝えたりロシア国籍の親族や友人に連絡してロシア国内で戦争反対ムードを起こそうとしましたが、「お前たちは嘘つき。自分の手でウクライナ国民を殺しているくせにロシア人のせいにしたがる」と言われたり。長年プロパガンダを食らったら自分の血族よりテレビで言われることを信じてしまいます。ウクライナ人が自由の醍醐味を 2 回もマイダン革命で経験している間、お隣さんの住民は「ゾンビ族」に化けていました。

(次号へ続く)

※ 1. 分かりやすく詳細な解説は、https://www.publication.law.nihon-u.ac.jp/pdf/journalism/journalism_20/each/12.pdf (2024 年 1 月 20 日閲覧)。

※ 2. <https://utf.u-tokyo.ac.jp/newslist/hcd2023/lecture> (2024 年 1 月 20 日閲覧)。

※ 3. <https://en.yna.co.kr/view/AEN20240102006251315> (2024 年 1 月 20 日閲覧)。



2024年の新年早々に起こった能登半島地震は、改めてこの国における原発の危険性を再認識させた。今回、志賀原発は13年前の地震による福島第一原発の爆発事故以来稼働を停止していた事が、大事故に至らなかった原因であり、動いていたら福島原発事故を上回る被害が起こったに違いない。温暖化対策を口実に原発の復活をもくろむ政策は一日も早く止めなければならない。

志賀原発

北陸電力の志賀原発1号機（沸騰水型 BWR54 万 Kw）は1993年に、2号機（改良型 ABWR136 万 Kw）は2006年に運転開始したが、両者とも度々事故を起こし運転停止が行われていた。例えば1号機は2007年3月19日、定期点検中に臨界事故が発生したが、北陸電力はデータを改ざんし公表せず、地滑りで送電塔も倒れ送電出来なくなっていた。2005年3月には、国の地震調査委員会が「2号機炉心近くの活断層でマグニチュード7.6程度の地震が起こる可能性がある」と指摘したにもかかわらず、北陸電力は1年後に2号機の営業運転を開始した。原発設置計画当初から反対していた住民らの運転差し止め訴訟で、金沢地裁は2号機運転開始9日後に2号機の運転差し止めの判決を出したが、北陸電力は控訴した。

頻発する能登半島地震

これまで能登半島周辺では地震が頻発していた。1号機運転開始5か月前の1993年2月7日や2007年3月25日には、マグニチュード6.9の地震が輪島市沖合で発生、輪島市や志賀町、能登町で震度6を超え、その余震は2008年1月26日（震度5弱）、2020年3月13日にも震度5.5の余震があった。その後2022年6月19日、2023年5月5日にもこの地方が震源の地震が発生している。そして2024年1月1日の大地震である。この地域では過去4年間に震度3以上の地震が160回も起きている。このような場所に原発を作るべきではなかった。裁判では原発敷地内活断層の有無が争点になる事が多いが、地震調査委員会によれば、今回の震源地の能登半島先端の輪島市沖合には活断層はなかった。地下水上昇に伴う地層隆起に触発されたこの度の地震は、今後の原発裁判にも大きな影響を与えるだろう。

志賀原発で起こった事

1月1日、地震が起きてから1時間後には1号機の、3時間後には2号機の変圧器パイプが破損し油漏れが起こった。漏れた油の量について北陸電力は当初3600リットルと公表したが、5日後には19800リットル（19.8m³）と訂正した。津波についても当初、北電は影響なかったと発表したが、後に3メートル水位上昇があったと訂正した。使用済み燃料の冷却に必要な外部電源についても、5系統の内2系統が使えなくなっている。外部電源が切れた場合に使う非常用ディーゼル発電機も2台の内1台が使えない状態で、復旧には半年以上かかるという。原発の内部についてはまだ十分な検査が行われておらず、今後も新たなトラブルが出てくる可能性がある。こうした状況を考えると、地震発生時に原発が稼働中であつたら大事故につながった可能性がある。

避難経路の破壊と被曝の危険性

今回の地震で明らかになったのは、原発事故の際に必要な避難経路の確保が出来なかったという事実である。事故から1か月たった今も能登半島の陸路は破断状態で通行が出来ない場所が幾つもある。原発から30Km圏内には15万人が住んでいて、原発事故が起きたら膨大な数の被ばく者と被ばく線量を覚悟しなければならなかった。こうした状況は今後も解決できる見通しはなく志賀原発は1日も早く廃炉にすべきである。

この度の地震の震源地である珠洲市で計画された珠洲原発は、20年以上にわたる現地住民の反対運動で2003年に中部電力が計画を中止したが、本当に良かった。改めて地元の反対運動の方々に感謝したい。

（2024年1月27日 河田）

【寄付・会員状況のお知らせ】

- ◆10月 寄付／会費 384,000 円
- ◆11月 寄付／会費 337,017 円
- ◆12月 寄付／会費 656,000 円
- ◆2023 年度累計（ウクライナ救援基金を除く）
3,115,787 円（12 月末）
- ◆ウクライナ救援基金 25,706,435 円
（2022/3/7～2023/12/31）
- ◆会員数 180 名
- ◆ポレーシェ読者数 673 名

～心温まるご支援をありがとうございました～

【寄付のお願い】

- ◆一般寄付
三菱UFJ 銀行 高畑支店 普通 1682863
- ◆ウクライナ救援基金
三菱UFJ 銀行 名古屋営業部 普通 6949211
- ◆郵便振替 00880-7-108610
〈口座名義〉
特定非営利活動法人チェルノブイリ救援中部
- *クレジットカードでも受け付けております
（ページ下の QR コードから寄付ページへアクセス！）

※領収書が必要な方はご連絡ください

当団体は「認定特定非営利活動法人」ではございませんので、ご寄附は税額控除の対象にはなりません。
ご了承のほどお願いいたします。

●「ウクライナ避難者支援 大交流会」が 2023 年 11 月 18 日（土）19 日（日）に西尾市のホテルで開催され、東海地域に避難しているウクライナ人、専門家（司法書士、カウンセラー、医師）や支援者など総勢 165 名が参加しました。これは「あいち・なごやウクライナ避難者支援ネットワーク」が主催し、コアメンバーとしてチェル救からは戸村さんが参画しています。さらに、ポレーシェ連載記事でお世話になっているイリーナ ペトリチェンコさん、ウクライナとの連絡調整を担当している竹内高明さん（ご家族全員で）が 2 日間の通訳者として活躍しました。避難者の皆さんは温泉に入ってゆったりした時間を過ごし、また、専門家に生活の不安や仕事のことなどを相談することができました。詳細は、同ネットワーク HP (<https://www.aichinagoya-borsch.com/>) をご覧ください。

事務局だより

ウクライナの子どもの絵画展を開催しませんか！

「なぜウクライナの子供たちは爆撃の下で生活し、学ばなければならないの？子供たちはみんな生きる権利があります。」— グラマジェンコ・ポリーナ 12 才が絵の添えて書いたメッセージです。

戦時下のウクライナに暮らす子ども達の絵画 112 点が日本に届きました。これらの絵で絵画展を開催していませんか。絵画の貸出料は無料です（ただし絵画展の開催費用、絵画の送料はご負担ください）。

各地で絵画展が開催され、一人でも多くの方に絵を見ていただきたいと思います。詳しくはチェル救事務所までお気軽にお問い合わせください。

【今後の絵画展の予定】

- 3 月 8 日（金）～13 日（水）／福島県南相馬市：小高教会幼稚園
- 4 月 6 日（土）～22 日（月）／愛知県額田郡幸田町：珈琲とギャラリー RIEN
- 5 月 21 日（火）～30 日（木）／名古屋市名東区：ピースあいち企画展示室
- 6 月 8 日（土）～10 日（月）／埼玉県加須市：パストラルかぞ展示室
- 9 月 10 日（土）～23 日（土）／名古屋市栄：セントラルパークセントラルギャラリー
- 10 月 26 日（土）／愛知県一宮市：尾張一宮駅前ビル大会議室



発行 特定非営利活動法人 チェルノブイリ救援・中部

〒460-0012 名古屋市中区千代田 5 丁目 11-33 ST PLAZA TSURUMAI 本館 5B

TEL & FAX 052-228-6813（月・水・金 10:00 ～ 15:00）

E-mail chqchubu@muc.biglobe.ne.jp URL <http://www.chernobyl-chubu-jp.org>

印刷 エープリント

